

第1問

国語

1 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語の〔第3学年及び第4学年〕2内容〔知識及び技能〕(3)オである。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。あとのa～eから一つ選びなさい。

ア

(①) 読書に親しみ、読書が、必要な(②)や(③)を得ることに役立つことに気付くこと。

- | | | | |
|---|-------|-----|-----|
| a | ①幅広く | ②語彙 | ③見識 |
| b | ①日常的に | ②見識 | ③情報 |
| c | ①多様な | ②教養 | ③見識 |
| d | ①幅広く | ②知識 | ③情報 |
| e | ①日常的に | ②知識 | ③理解 |

2 次の文章を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(山極寿一『ゴリラとヒトの間』による)

(注) シルバーバック……背中から腰にかけての毛が白くなった成熟した雄のゴリラのことを言う。

ブラックバック……背中から腰にかけての毛が白くならない青年の雄のゴリラのことを言う。

(1) 傍線部の「抑制」と同じ構成になっている二字熟語はどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

イ

- a 新米
- b 読書
- c 断続
- d 無料
- e 豊富

(2) (①) ・ (②) ・ (③) に入る言葉の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

ウ

- | | | | |
|---|-------|-------|------|
| a | ①そのため | ②けれども | ③しかも |
| b | ①しかし | ②つまり | ③または |
| c | ①また | ②つまり | ③しかし |
| d | ①もしくは | ②なお | ③しかし |
| e | ①また | ②なお | ③だから |

(3) この文章で述べられている内容と合っているものはどれか。次の a ～ e から一つ選びなさい。

- a 同じ能力をもつ両者が双方の能力を下げたり上げたりしながら一致させていくことが、遊びをエスカレートさせ長続きさせる必要条件である。
- b サルの社会で年齢の異なる子ども同士の遊びが少なく、遊びが長続きしないのは、優位な個体が自分の力を抑制するハンディキャッピングが意外に高度な技術であり、サルの優劣社会にあまり発達していないためであろう。
- c 遊びが成立するためには、体の小さい個体が自分の能力を最大限に出し切つて体の大きい個体の能力に合わせる努力をしなければならない。これが「セルフ・ハンディキャッピング」と呼ばれるものである。
- d シルバーバックは、自分から遊びを仕掛けるか、年下のゴリラを誘うかする。このようなシルバーバックからの働きかけがあつてはじめて遊びが成立する。
- e 霊長類の遊びの頻度は乳児でも多い。これは相手の動きに同調し、相互に誘い合つていくつかの文脈を組み立てていく遊びの技術を乳児は身に付けているからである。

3 次の漢詩の傍線部の意味として、最も適切なのはどれか。あとの a ～ d から一つ選びなさい。

山行 杜牧

遠^ク上^ル寒^シ山^ニ石^ノ径^ヲ斜^ク

白^ク雲^生處^ニ有^リ人^家

停^ト車^メ坐^ス愛^ス楓^林晚^ク

霜^ノ葉^ハ紅^ク於^テ二^月花^ハ

- a 霜にうたれた紅葉の葉は春も盛りの二月になると、赤くなり美しい。
- b 霜にうたれた紅葉の色は、春も盛りの二月に見た花々の赤さを思い出させる。
- c 霜にうたれた紅葉の色は、春の盛りの二月の花々よりも、赤いのだ。
- d 春も盛りの二月になると、冬に霜にうたれた紅葉の方が、より一層赤くなるのだ。

社 会

- 4 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 社会編 第2章 社会科の目標及び内容 第1節 社会科の目標 2 学年の目標 (2) 各学年の目標の系統 に関する記述の一部である。(①) ~ (⑤) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

「思考力、判断力、表現力等」に関する目標については、第3学年、第4学年、第5学年及び第6学年の目標の(2)にそれぞれ示されている事項が該当する。

「思考力、判断力、表現力等」に関する目標を学年順に示してみると、次のようになる。

- 第3学年及び第4学年
 - ・社会的事象の特色や(①), 意味を考える力, 社会に見られる課題を把握して, その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力, 考えたことや選択・判断したことを(②)する力を養う。
- 第5学年及び第6学年
 - ・社会的事象の特色や(①), 意味を(③)考える力, 社会に見られる課題を把握して, その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力, 考えたことや選択・判断したことを(④)したり, それらを基に(⑤)したりする力を養う。

- | | | | | | |
|---|--------|-----|-------|-----|-----|
| a | ①相互の関連 | ②表現 | ③多角的に | ④説明 | ⑤議論 |
| b | ①相互の作用 | ②発表 | ③多面的に | ④説明 | ⑤議論 |
| c | ①相互の作用 | ②説明 | ③多面的に | ④議論 | ⑤発表 |
| d | ①相互の関連 | ②説明 | ③多角的に | ④議論 | ⑤発表 |
| e | ①相互の関連 | ②議論 | ③多角的に | ④発表 | ⑤説明 |

- 5 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 社会編 第1章 総説 2 社会科改訂の趣旨及び要点 の、(2)改訂の要因 に関する記述の一部である。(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 キ

内容構成の改善に当たっては、各学年の内容を、①地理的環境と人々の生活、②歴史と人々の生活、③現代社会の仕組みや働きと人々の生活に区分する観点及び第3学年と第4学年の目標と内容を分けて示す観点から、整理し直した。また、各学年の内容を「知識及び技能に関わる事項」と「思考力、判断力、表現力等に関わる事項」に分けて明確化した。

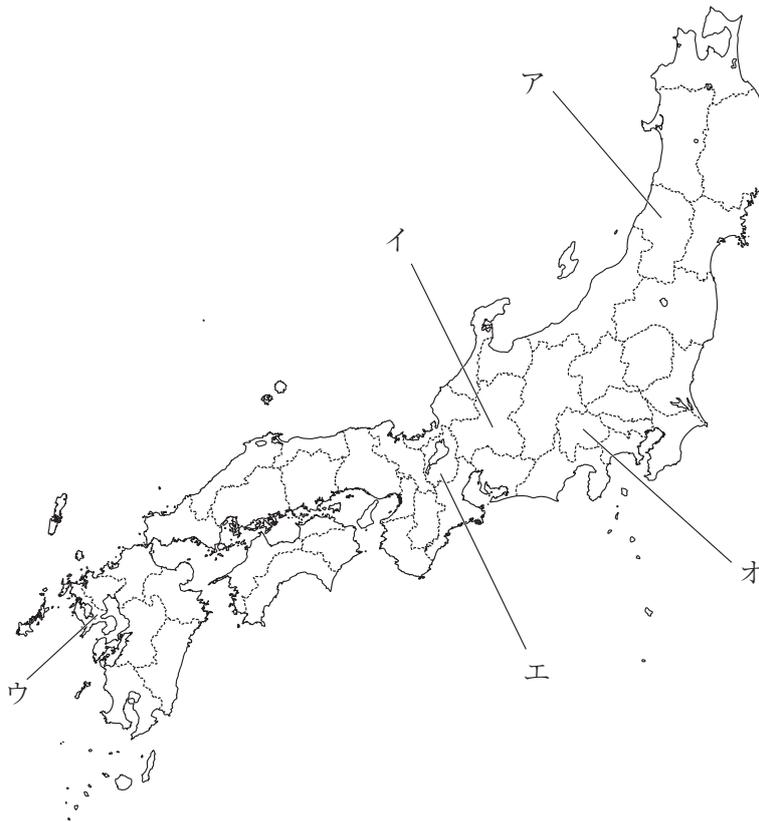
その上で、(①)との関わりや(②)への関心を高めるよう教育内容を見直すとともに、自然災害時における(③)の働きや地域の人々の工夫・努力等に関する指導の充実、少子高齢化等による(④)の変化や(⑤)に伴う生活や産業の変化に関する教育内容を見直すなどの改善を図った。

- | | | | | | |
|---|--------|--------|---------|---------|------|
| a | ①近隣国 | ②政治の働き | ③地域社会 | ④地方公共団体 | ⑤国際化 |
| b | ①政治の働き | ②地域社会 | ③地方公共団体 | ④社会保障政策 | ⑤情報化 |
| c | ①政治の働き | ②社会生活 | ③自衛隊 | ④地域社会 | ⑤情報化 |
| d | ①世界の国々 | ②政治の働き | ③地方公共団体 | ④地域社会 | ⑤情報化 |
| e | ①世界の国々 | ②伝統文化 | ③自衛隊 | ④社会保障政策 | ⑤国際化 |

6 次の①～⑤の文は、地図で示したア～オの県について述べたものである。それぞれの文と各県の位置の組み合わせが、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

ク

- ① 県土面積は93万haで、全国9位である。平成29年のさくらんぼの生産量は全国の75.9%を占めた。
- ② 周囲を急峻な山々に囲まれている。寒暖差を生かした果樹栽培が盛んで、平成30年はブドウ、モモ、スモモが全国一の生産量であった。
- ③ 鎖国時代は、日本の貿易の窓口として出島がつくられた。ヨーロッパや中国などの影響を受けた独特の文化や歴史が残っている。
- ④ 県土の約6分の1を湖が占める。この湖は古来軍事や交通の要衝であり、湖の周辺には歴史上重要な役割を果たした場所がいくつもある。
- ⑤ 県北部には標高3000mを超える山々が連なり、南部の平野部には木曾三川が流れ、古くから「飛山濃水の地」と呼ばれてきた。



- | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| a | ①ア | ②オ | ③ウ | ④エ | ⑤イ |
| b | ①ア | ②イ | ③ウ | ④オ | ⑤エ |
| c | ①オ | ②ア | ③イ | ④エ | ⑤ウ |
| d | ①エ | ②イ | ③ア | ④オ | ⑤ウ |
| e | ①オ | ②ア | ③ウ | ④エ | ⑤イ |

7 明治時代に行われた①～⑤の政策について、年代の古い順に並べたものとして正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

- ① 大日本帝国憲法が発布された。
- ② 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代内閣総理大臣になった。
- ③ 藩を廃止して県を置く廃藩置県が行われた。
- ④ 陸奥宗光がイギリスと条約改正交渉を行い、治外法権の撤廃を実現した。
- ⑤ 国内の産業を盛んにするために、官営の富岡製糸場が開設された。

- a ③ → ⑤ → ② → ④ → ①
- b ⑤ → ③ → ② → ① → ④
- c ③ → ① → ② → ④ → ⑤
- d ⑤ → ③ → ① → ② → ④
- e ③ → ⑤ → ② → ① → ④

8 次の資料1～3は、二酸化炭素排出量に関するものである。資料1～3から読み取れる内容として、正しくないものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

資料1

資料2

資料3

- a 国別排出量の割合をみると、日本の二酸化炭素排出量は、中国の8分の1以下であるが、アジアの国の中では3番目に多い。
- b 国民一人当たりの排出量をみると、二酸化炭素の排出量は日本はカナダより少ないが、国別排出量の割合をみると、日本の方がカナダよりも多い。
- c 累積排出量の割合をみると、日本がアジアの国の中で最も多い。
- d 国別排出量の割合をみると、アメリカの二酸化炭素の排出量の割合は約50億tで、国民一人当たりの排出量の割合は15.5tである。
- e 累積排出量の割合をみると、工業化を早くから進めた国の二酸化炭素の累積排出量は、全体の約8割を占めている。そのうちの約5割がアメリカである。

算 数

9 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 算数編 第1章 総説 2 算数科改訂の趣旨及び要点 に関するものである。正しくないものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a 数学的に考える資質・能力の育成を目指す観点から、実社会との関わりと算数・数学を統合的・発展的に構成していくことを意識して、数学的活動の充実等を図った。
- b 算数的活動における二つの過程については、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにすることが大切である。
- c 社会生活など様々な場面において、必要なデータを収集して分析し、その傾向を踏まえて課題を解決したり意思決定をしたりすることが求められており、そのような能力の育成を目指すため、統計的な内容等の改善・充実を図った。
- d 基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成を図るために、一部の内容の指導時期を改めた。メートル法の単位の仕組み（長さと体積の単位の関係について）や速さは第6学年から第5学年に移行した。
- e 算数科の学習における「数学的な見方・考え方」については「事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること」であると考えられる。

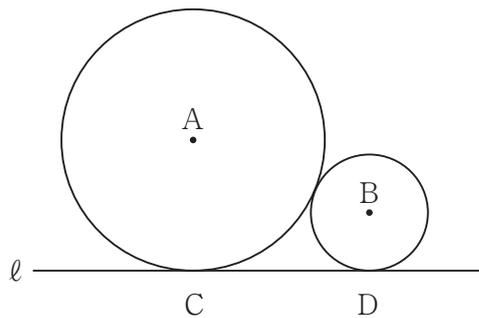
10 $3x^2 - 5x - 12$ を因数分解したとき、正しいものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a $(3x - 4)(x + 3)$
- b $(3x + 2)(x - 6)$
- c $(3x - 2)(x + 6)$
- d $(3x + 4)(x - 3)$
- e $(3x - 4)(x - 3)$

- 11 次の関数について、グラフの形が原点に対して対称とならないものはどれか。次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a $y = \frac{2}{x}$
 b $y = 2x$
 c $y = x^2$
 d $y = -2x$
 e $y = -\frac{2}{x}$

- 12 図のように直線 l に円 A, B がそれぞれ接し、円 A, B も互いに接している。直線 l と円 A, B との接点をそれぞれ C, D とし、円 A の半径を 9 cm, 円 B の半径を 4 cm とするとき、線分 CD の長さとして正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。



- a 10cm
 b 11cm
 c 12cm
 d 13cm
 e 14cm

- 13 ある種子の発芽率を調べるために、同じ条件で1回10粒ずつ、5回の発芽試験をしたところ、次のような結果になった。この結果から1500粒以上発芽させるには、最低何粒まけばよいと考えられるか。下のa～eから一つ選びなさい。

	1回	2回	3回	4回	5回
発芽した種子の数	8	9	9	8	9
発芽しなかった種子の数	2	1	1	2	1

- a 1742
- b 1743
- c 1744
- d 1745
- e 1746

理 科

- 14 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 理科編 第2章 理科の目標及び内容 第1節 教科の目標 (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにすること に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

児童は、自ら自然の事物・現象に働きかけ、問題を解決していくことにより、自然の事物・現象の性質や (①) などを把握する。その際、児童は、問題解決の過程を通して、あらかじめもっている自然の事物・現象についてのイメージや素朴な概念などを、既習の内容や (②)、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、(③) たりして、より (④) の高いものに更新していく。このことは、自然の事物・現象について、より深く理解することにつながっていくのである。このような理解は、その段階での児童の発達や経験に依存したものであるが、自然の事物・現象についての科学的な理解の一つと考えることができる。

- | | | | | |
|---|------|-------|-------|------|
| a | ①規則性 | ②生活経験 | ③価値付け | ④汎用性 |
| b | ①規則性 | ②生活経験 | ③関係付け | ④妥当性 |
| c | ①規則性 | ②実体験 | ③価値付け | ④妥当性 |
| d | ①構造 | ②実体験 | ③関係付け | ④信頼性 |
| e | ①構造 | ②生活経験 | ③価値付け | ④信頼性 |

- 15 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 理科編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項 (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

キ

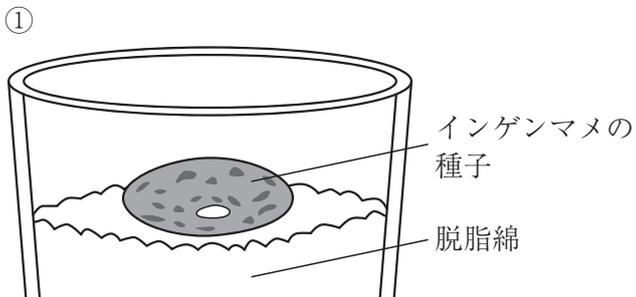
(1) 単元など内容や (①) を見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、理科の (②) の特質を踏まえ、理科の見方・考え方を働かせ、(③) をもって観察、実験を行うことなどの、問題を (④) に解決しようとする学習活動の充実を図ること。

- | | | | | |
|---|----------|-------|-------|------|
| a | ①活動のまとまり | ②学習順序 | ③目的意識 | ④科学的 |
| b | ①活動のまとまり | ②学習順序 | ③見通し | ④客観的 |
| c | ①時間のまとまり | ②学習過程 | ③見通し | ④科学的 |
| d | ①活動のまとまり | ②学習過程 | ③見通し | ④主体的 |
| e | ①時間のまとまり | ②学習順序 | ③目的意識 | ④客観的 |
- 16 次の文は、「力のはたらき」や「圧力」について述べたものである。適切でないものはどれか。次の a ~ e から一つ選びなさい。 ク

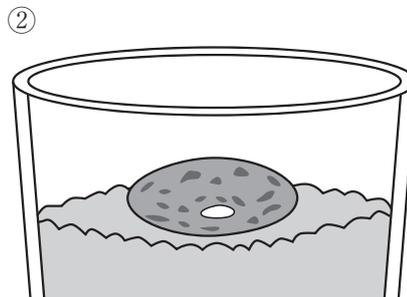
- a 机の上の本のように、面に接している物体には面に垂直な力がはたらく。このような力を垂直抗力という。
- b 斜面上の台車がすべり落ちないように支えるには、斜面にそって上向きの力を加えなければならない。
- c 物体どうしがふれ合う面に力がはたらくとき、その面を垂直におす単位面積あたりの力の大きさを圧力という。圧力の単位には、パスカルが使われる。
- d 物体を全て水に入れたときと半分だけ水に入れたときでは、浮力の大きさは変わらない。
- e 地球をとりまく空気による圧力である大気圧は、あらゆる方向に同じ大きさではたらく。

17 次の図①～④は、インゲンマメの「発芽の条件」を確認するための実験である。発芽の条件として空気の必要性を確かめるための対照実験の組み合わせとして、適切なものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

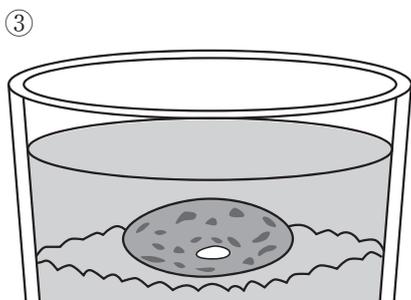
ケ



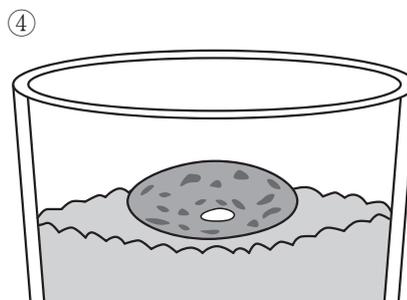
室温 20℃
脱脂綿を水で湿らせていない



室温 20℃
脱脂綿を水で湿らせている



室温・水温 20℃
種子を水にしずめる

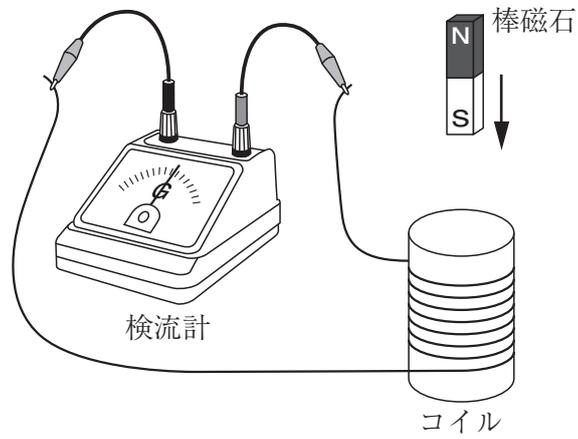


冷蔵庫 (5℃くらい) に入れる
脱脂綿を水で湿らせている

- a ①と②
- b ①と③
- c ②と③
- d ②と④
- e ③と④

18 次の図は、「検流計を用いた電磁誘導の実験」に関するものである。流れる電流を大きくするための方法として、適切なものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

コ



- a 棒磁石をゆっくり動かす。
- b コイルの巻数をより少なくする。
- c 磁力が強い棒磁石に変更する。
- d 棒磁石の極を逆にする。
- e コイルと検流計をより近づける。

第3問

生 活

- 19 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 生活編 第2章 生活科の目標 第2節 学年の目標 1 学年の目標の設定 (3) 2学年間を見通した目標の設定 に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

第1の趣旨は、低学年の児童には、(①) な活動を通して思考するという発達上の特徴があることである。児童は試行錯誤したり繰り返したりして、対象に何度も関わりながら体全体で学ぶ。このような低学年の児童の発達上の特徴に配慮し、学年の目標を共通に示して、児童の実態に即して活動の(②) などに配慮した柔軟な指導ができるようにしている。

第2の趣旨は、生活科は児童の(③) を学習の対象や場にして、直接体験を重視した学習活動を展開することである。このような学習では、地域の生活環境の様子、(④) などの違い、また、児童の生活経験の違いなどが活動に影響してくる。学習活動を見定めたり学習の素材を選んだりする際に、これらのことを基にすることが大切である。

- | | | | | |
|---|------|----------|------|------------|
| a | ①具体的 | ②個性化や多様化 | ③環境圏 | ④生活様式や習慣 |
| b | ①具体的 | ②深まりや広がり | ③生活圏 | ④生活様式や習慣 |
| c | ①具体的 | ②個性化や多様化 | ③生活圏 | ④家族構成や友人関係 |
| d | ①抽象的 | ②深まりや広がり | ③生活圏 | ④家族構成や友人関係 |
| e | ①抽象的 | ②個性化や多様化 | ③環境圏 | ④家族構成や友人関係 |

- 20 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 生活編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項 に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

生活科における気付きの (①) という視点に立ち、気付いたことを基に考えることができるようにするための (②) な学習活動を行うことが大切である。そのためにも「試す、見通す、(③) など」を新たに加え、一層の充実を図り、「(④)」を実現することが期待される。

- a ①幅を広げる ②多様 ③工夫する ④質の高い学び
 b ①幅を広げる ②広範囲 ③やりとげる ④質の高い学び
 c ①質を高める ②発展的 ③やりとげる ④深い学び
 d ①質を高める ②多様 ③工夫する ④深い学び
 e ①質を高める ②広範囲 ③振り返る ④深い学び

- 21 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 生活編 第5章 指導計画の作成と学習指導 第1節 生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方 2 学習指導の特質 に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

生活科では、一人一人の児童の (①) の実現に向けた活動を展開していく。そのためには、例えば、(②) との出会い方を工夫することが考えられる。事前に児童の興味・関心の実態を確かめ、それに合わせて児童の意欲や主体性を引き出す (③) や活動への誘いかけに配慮する必要がある。児童が好奇心や探究心、対象への興味や親しみ、憧れなどからくる「やってみたい」「知りたい」「(④)」といった自分の強い (①) をもつことができれば、単元を通して主体的で意欲的に学ぶことが可能になるからである。

- a ①思いや願い ②人, もの, こと ③教材選択 ④成長したい
 b ①夢 ②人, もの, こと ③環境構成 ④できるようになりたい
 c ①思いや願い ②人, 社会, 自然 ③環境構成 ④できるようになりたい
 d ①思いや願い ②人, 社会, 自然 ③教材選択 ④成長したい
 e ①夢 ②人, 社会, 自然 ③環境構成 ④成長したい

音 楽

22 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 第6節 音楽 第2各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕2 内容 A 表現(3)である。(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

- (3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。
- (ア) 音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ること。
- (イ) どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつこと。
- イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出す(①)などに関わらせて気付くこと。
- (ア) (②)の特徴
- (イ) 音やフレーズのつなげ方の特徴
- ウ 発想を生かした表現や、(③)に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。
- (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能
- (イ) 音楽の仕組みを用いて、(④)をつくる技能

- a ①楽しさ ②声や身の回りの様々な音
 ③思いや意図 ④音楽
- b ①よさや面白さ ②いろいろな音の響き
 ③思い ④簡単な音楽
- c ①面白さ ②いろいろな音の響き
 ③思い ④音楽
- d ①面白さ ②声や身の回りの様々な音
 ③思い ④簡単な音楽
- e ①楽しさ ②いろいろな音の響き
 ③思いや意図 ④簡単な音楽

23 次の記号の名前と意味の組み合わせとして、正しいものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a  アクセント —— その音を短く切って演奏する。
- b  シャープ —— 半音下げる。
- c  スラー —— 高さのちがう 2 つ以上の音符をなめらかに演奏する。
- d  スタッカート —— その音を目立たせて演奏する。
- e  ナチュラル —— 半音上げる。

24 次の楽譜は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 第6節 音楽 に示されている共通教材のうちの一曲である。この曲と、同じ学年で取り扱う共通教材はどれか。下の a～e から一つ選びなさい。



- a スキーの歌
- b ふじ山
- c まきばの朝
- d うみ
- e 夕やけこやけ

25 24の に当てはまる楽譜はどれか。次の a～e から一つ選びなさい。



図画工作

- 26 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕1 目標 である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。
- | |
|---|
| ア |
|---|

1 目 標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の (①) を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を (②) することができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする (③) を養う。

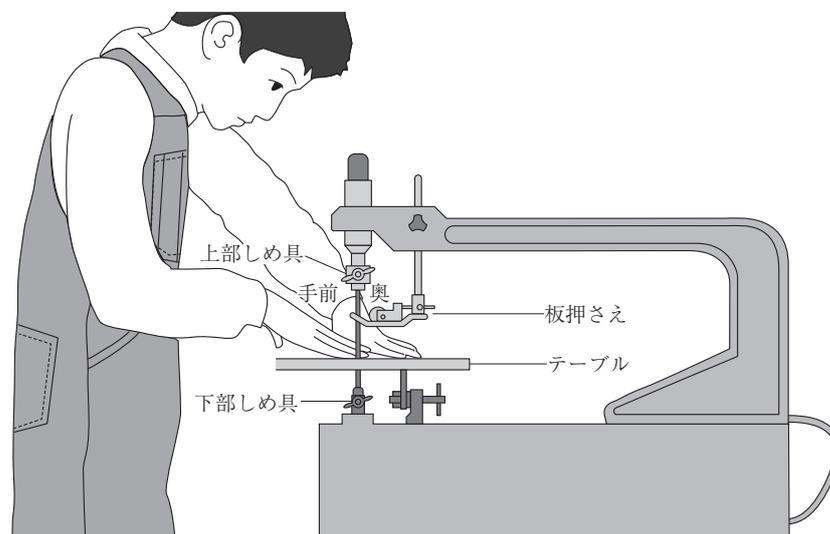
- | | | | |
|---|--------|-------|-----|
| a | ①感覚や行為 | ②広げたり | ③意識 |
| b | ①感性 | ②深めたり | ③思い |
| c | ①身体 | ②広げたり | ③態度 |
| d | ①感覚や行為 | ②深めたり | ③態度 |
| e | ①身体 | ②高めたり | ③思い |

27 平成29年7月小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項 には、それぞれの学年を中心に使用することを基本とした材料や用具について示されている。基本として取り扱う学年と、具体的に挙げられている材料や用具の組み合わせとして、正しいものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 第5学年及び第6学年、使いやすいのこぎり
- b 第1学年及び第2学年、金づち
- c 第3学年及び第4学年、針金
- d 第1学年及び第2学年、木切れ
- e 第3学年及び第4学年、板材

28 次の文は、電動糸のこぎりの糸のこ刃の取り付け方についての説明である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

- 1 (①) しめ具で、糸のこ刃を止める。
 ※ 糸のこ刃の刃は、(②) に向けて取り付ける。
 2 次に、(③) しめ具を締めて、糸のこ刃をしっかりと固定する。



- a ①下部 ②手前 ③上部
- b ①下部 ②奥 ③上部
- c ①上部 ②手前 ③下部
- d ①上部 ②奥 ③下部
- e ①下部 ②利き手 ③上部

29 次の作品と作者の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

工

①

②

③

④

- | | | |
|---|---------------|------------|
| a | ①アメデオ・モディリアーニ | ②パウル・クレー |
| | ③ルネ・マグリット | ④アンリ・ルソー |
| b | ①マルク・シャガール | ②グスタフ・クリムト |
| | ③ルネ・マグリット | ④アンリ・マティス |
| c | ①マルク・シャガール | ②パウル・クレー |
| | ③ジョルジョ・デ・キリコ | ④アンリ・マティス |
| d | ①マルク・シャガール | ②グスタフ・クリムト |
| | ③ジョルジョ・デ・キリコ | ④アンリ・ルソー |
| e | ①アメデオ・モディリアーニ | ②パウル・クレー |
| | ③ジョルジョ・デ・キリコ | ④アンリ・マティス |

家 庭

- 30 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 家庭編 第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 衣生活 に関する記述の一部である。(①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

(4) 衣服の着用と手入れ

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 衣服の主な働きが分かり、(①) に応じた日常着の快適な着方について理解すること。

(イ) 日常着の手入れが必要であることや、(②) 及び(③)を理解し、適切にできること。

イ 日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、(④) こと。

- | | | | | |
|---|--------|----------|------------|-------|
| a | ①気候や目的 | ②ミシンの操作 | ③アイロンのかけ方 | ④工夫する |
| b | ①季節や状況 | ②ミシンの操作 | ③たたみ方・しまい方 | ④工夫する |
| c | ①季節や目的 | ②修繕の仕方 | ③洗濯の仕方 | ④実践する |
| d | ①気候や体調 | ②ボタンの付け方 | ③アイロンのかけ方 | ④活用する |
| e | ①季節や状況 | ②ボタンの付け方 | ③洗濯の仕方 | ④工夫する |

- 31 栄養素とその働きの一部を示したものとして、適切でないものはどれか。次のa~eから一つ選びなさい。

- a 無機質は、骨や血液などの成分としてからだの組織をつくったり、体液のpHや浸透圧の調節をするなどの役割をもつ。
- b 炭水化物は、糖質と食物繊維に分けられる。食物繊維は血中コレステロールの吸収を妨げるなどの役割をもつ。
- c 脂質は、エネルギー源であるとともに、細胞膜の重要な成分でもある。
- d ビタミンは、脂溶性ビタミン(A, Dなど)と水溶性ビタミン(B₁, B₂, Cなど)に分けられる。ビタミンAは血管を丈夫にし、傷の回復を早める。
- e たんぱく質は主に筋肉や臓器、血液などをつくるもとになる。また、体内で分解され、エネルギー源となる。

- 32 次の表は国際消費者機構（CI）が提唱した消費者の責任とその説明を示したものである。消費者の責任とその説明の組み合わせとして、適切でないものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

	消費者の5つの責任	説明
a	商品や価格などの情報に疑問や関心をもつ責任	与えられた情報をうのみにするのではなく「あれ？何かおかしいな？」と疑問や関心をもつ。
b	公正な取引が実現されるように主張し、行動する責任	買った商品に問題があったときに、販売元に問題の改善を求めたり、消費生活センターなどに相談する。
c	自分の消費行動が社会（特に弱者）に与える影響を自覚する責任	途上国の人びとの生活を意識してフェアトレードの商品の購入はしない。
d	自分の消費行動が環境に与える影響を自覚する責任	環境に配慮した商品を選択したり、ゴミの出し方に配慮するなど、消費者の行動が環境に影響を与えることを自覚する。
e	消費者として団結し、連帯する責任	トラブル解決のために、被害にあった人が一緒になって問題に立ち向かう。

第5問

体 育

- 33 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 1 目標 からの抜粋である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

中学年では、全ての児童が、運動の特性に応じた(①)や(②)に触れることができるようにすることにより、運動に意欲的に取り組み、知識及び技能を身に付けることを重視し、その結果として(③)の向上につながる指導等の在り方について改善を図ることを意図したものである。また、運動の(①)だけでなく、友達と協力して得られる達成感や課題を解決した成就感などの(②)に触れることができるようにすることを意図している。

- a ①楽しさ ②面白さ ③体力
b ①技術 ②喜び ③運動能力
c ①楽しさ ②心地よさ ③運動能力
d ①楽しさ ②喜び ③体力
e ①技術 ②心地よさ ③体力

- 34 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第1節 教科の目標及び内容 4 各領域の内容 (1) 運動領域の内容 ア 体づくり運動系 からの抜粋である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa~eから一つ選びなさい。

体づくり運動系については、「体ほぐしの運動（遊び）」は、(①) や (②) に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることが主なねらいであり、「多様な動きをつくる運動（遊び）」及び「体の動きを高める運動」は、体の様々な動きを身に付けたり高めたりすることが主なねらいであり、それぞれが特定の技能を示すものではないことから、従前どおり「技能」ではなく「(③)」として示す。

- | | | | |
|---|---------|----------|-----|
| a | ①体の動かし方 | ②遊び方 | ③能力 |
| b | ①心の変化 | ②体の動かし方 | ③能力 |
| c | ①心と体の変化 | ②心と体との関係 | ③運動 |
| d | ①体の動かし方 | ②心と体との関係 | ③運動 |
| e | ①心と体の変化 | ②心と体との関係 | ③能力 |

- 35 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容 D 水泳運動 に関する記述の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 ウ

高学年の水泳運動は、「クロール」,「(①)」及び「(②)」で構成され、続けて長く泳いだり、泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりする楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

低学年の水遊びと中学年の水泳運動の学習を踏まえ、高学年では、水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、手と足の動かし方や呼吸動作などの(③)を身に付けるようにし、中学校の水泳の学習につなげていくことが求められる。

- | | | | |
|---|--------------|--------------|---------|
| a | ①平泳ぎ | ②安全確保につながる運動 | ③基本的な技能 |
| b | ①平泳ぎ | ②安全確保のための泳ぎ | ③基本的な技術 |
| c | ①安全確保につながる運動 | ②基本的な技能 | ③連動した動き |
| d | ①平泳ぎ | ②背泳 | ③連動した動き |
| e | ①背泳 | ②自由形 | ③基本的な技能 |

- 36 次の文は、平成29年7月小学校学習指導要領解説 体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容 G 保健 (2) けがの防止 に関する記述の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

工

けがの防止については、(①) や防止の方法について理解できるようにする必要がある。また、けがが発生したときには、その症状の悪化を防ぐために(②) に手当ができるようにする必要がある。さらに、危険を予測し回避する方法を考え、それらを(③) できるようにする必要がある。

- a ①けがの発生要因 ②適切 ③行動
b ①けがの発生要因 ②速やか ③表現
c ①けがの原因 ②速やか ③行動
d ①けがの原因 ②安全 ③表現
e ①けがの発生要因 ②適切 ③判断

外国語活動・外国語科

37 次の(1)～(3)の対話について、(①)～(③)に該当する組み合わせとして、正しいものはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 才

- (1) A : Where should I put the plant?
 B : Put it in the corner, next to the desk.
 A : (①) Where should we put it?
 B : Let's put it in front of the window.
- (2) A : How was the fashion show?
 B : Beautiful! The clothes were so unique. It was just indescribable. (②)
 A : I think so.
 B : Yeah. Words can't describe them.
- (3) A : Come on in.
 B : My name is Akiko Sato. I'm a freshman majoring in economics.
 A : (③)
 B : I'd like to register for your English class.
 A : Well, let me check.
- a ① You know what I mean? b ① What can I do for you?
 ② What can I do for you? ② How about the TV?
 ③ How about the TV? ③ You know what I mean?
- c ① You know what I mean? d ① How about the TV?
 ② How about the TV? ② You know what I mean?
 ③ What can I do for you? ③ What can I do for you?
- e ① How about the TV?
 ② What can I do for you?
 ③ You know what I mean?

38 次の文章で、(①) ~ (③) に該当する語の組み合わせとして、正しいものはどれか。下の a ~ e から一つ選びなさい。

カ

- a ① have
- ② take
- ③ show

- b ① show
- ② have
- ③ take

- c ① take
- ② show
- ③ have

- d ① have
- ② show
- ③ take

- e ① take
- ② have
- ③ show

